

**秋田港および能代港における洋上風力発電プロジェクトの
実施決定について**
～日本初となる大型洋上風力発電プロジェクトの商業化を目指す～

当社グループ企業である東北自然エネルギー株式会社（取締役社長 阿部 聡、以下、「東北自然エネルギー」）を含む共同事業実施者[※]は、特別目的会社「秋田洋上風力発電株式会社」（以下、「AOW」）を通じ、秋田県秋田港および能代港において、着床式洋上風力発電所および陸上送変電設備（以下、「洋上風力発電所」）の建設・運営を行うプロジェクト（以下、「本プロジェクト」）を実施することを決定し、本日、本プロジェクトに関わる融資契約を締結しました。

本プロジェクトは、日本国内で初めてとなる、商業ベースでの大型洋上風力発電プロジェクトとなります。

秋田県は、県内の再生可能エネルギーの導入拡大、ならびに産業振興を目的とし、秋田港および能代港において洋上風力発電事業者の公募を行い、2015年2月5日に丸紅株式会社（代表取締役社長 柿木 真澄氏、以下、「丸紅」）が事業者として選定されました。その後、2016年4月に丸紅が設立したAOWに共同事業実施者が出資を行い、当社も、東北自然エネルギーを通じ出資しておりました（2016年7月27日お知らせ済み）。その後、共同事業実施者が共同で開発可能性調査を実施した結果、今般、事業化決定に至ったものです。

本プロジェクトは、合計出力約14万kWの洋上風力発電所を建設し、20年間に亘って保守・運転するものです。2020年2月中に陸上送変電設備の着工を予定しており、2022年の商業運転開始を目指してまいります。

当社は、風力発電を主軸とした再生可能エネルギーについて、東北6県および新潟県を中心に200万kWの開発を目指しており、できるだけ早期に目標を達成できるよう、引き続き、再生可能エネルギー事業に積極的に取り組んでまいります。

以 上

※丸紅株式会社（筆頭株主）、株式会社大林組、コスモエコパワー株式会社、関西電力株式会社、中部電力株式会社、株式会社秋田銀行、大森建設株式会社、株式会社沢木組、協和石油株式会社、株式会社加藤建設、株式会社寒風、三共株式会社

（別紙）秋田港・能代港洋上風力発電プロジェクトの概要